

和華蘭の窓

Library Lovers' Nagasaki 2017



附属図書館長就任挨拶	2
古本募金	3
Library Lovers' Nagasaki	4-5
topics	6

附属図書館長就任挨拶

附属図書館長 田井村 明博

「知の拠点」としてダイナミックな 図書館運営を目指して



附属図書館は、教育研究活動での図書の利用をはじめ、電子化によって大きく変化した大学図書館に求められる機能充実のために、中央図書館、医学分館に新しくラーニングコモンズを設置するなど2014年までにリニューアルオープンしました。これからは、さらなる機能強化を図り、「知の宝庫」としての図書の充実を推進し、「知を創出」する場の提供、そして、大学で創出される教育研究成果のオープンアクセス化を推進します。また、本学が所有する「幕末・明治期日本古写真」をはじめとするコレクションの電子化を進めるとともに、資料の保管・管理など、図書館利用目的の変化にダイナミックに対応できる図書館運営を目指します。学生、教職員の皆様には、これまで以上に図書館をご活用いただき、利用に関するご意見をお寄せくださるようお願いいたします。

教育改革による図書館利用の変化

附属図書館は文教キャンパスに「中央図書館」、坂本キャンパスに「医学分館」、片淵キャンパスに「経済学部分館」で構成されており、2017年4月時点で蔵書数は図書が1,016,279冊、雑誌24,832種、電子ブック30,663種、電子ジャーナル15,646種を有し、年間入館者数（2016年）は668,767人となっています。

最近の学生生活調査によると、図書館利用も大きく変化しています。中央図書館、医学分館の改修が行われた前後の調査結果（第11回（平成21年度）、第13回（平成27年度））を比較すると、附属図書館の利用目的では「試験勉強・予習・復習」が30.9%から39.5%と大幅に増えたことがわかります。また、今後の改善を希望する項目として、「図書の充実」を望む割合が23.7%から22.3%と最も多く、「開館時間の延長」15.2%から21.6%、「閲覧席の充実」11.7%から15.2%、「パソコンの充実」24.2%から14.8%となっています。これらの変化は本学が推進するアクティブラーニング、パソコン必携などによる学習形態の変化によると思われます。従来から要望の多い「開館時間の延長」に関しては、セキュリティ・健康面からも、現状（平日22時まで）より延長することは難しいですが、例えば、キャンパス内に読書や学習の出来るカフェを新設するなど、ライブラリーラウンジ利用のさらなる充実を図ることも考えられます。

オープンアクセス、オープンサイエンス化に向けて

長崎大学学術研究成果リポジトリ（NAOSITE）を2007年から公開し、2017年4月までに、長崎大学の研究者による論文等29,919件を発信し、オープンアクセスを積極的に推進しています。これらの教育研究成果に関わる最も重要な基盤である電子ジャーナル購読については、購読料が高騰し、世界中の大学をはじめとする教育研究機関でその対応が大きな問題となっています。本学においても、オープンアクセス、オープンサイエンスについての理解を深めるとともに、研究推

進、成果の発信に欠かせない電子ジャーナル購読料については、一部局としての附属図書館の予算から、大学全体として戦略的に予算確保する必要があると考えます。

貴重資料のコレクション・電子化

1998年に本学が所蔵する「幕末・明治期古写真データベース」を公開し、1999年には「グラバー図譜データベース」、その後も本学が有する古写真、近代医学史関係資料、武藤文庫資料などを電子化コレクションとして公開し、2016年には約230万件のアクセスがありました。これらの貴重資料の修復保存、メタデータ整備、管理体制の強化が極めて大きな課題となっています。

ダイナミックな図書館運営を目指して

これらの多くの課題を解決し、大学図書館の機能の高度化によって、学習環境、研究環境を支えるダイナミックな図書館運営を目指します。特に老朽化・狭隘化が進み除湿浸水対策が急務となっている経済学部分館の建物改修については、雑誌を含む約28万冊の図書、貴重資料である「武藤文庫」をはじめ、多くの図書を保存、管理、利用するためにも早急に実現すべき極めて重要な課題です。

附属図書館では、皆さんから寄付された不要な本等を古本店に買い取っていただき、学生用図書の購入費等に充てる「古本募金（ふるほんぼきん）」を始めています。多くの学生、教職員の皆様のご協力をお願いいたします。

私のオススメ

本書は、「バカの壁」「死の壁」「超バカの壁」に続く「壁」シリーズの一冊です。「バカの壁」は400万冊以上も売れている超ベストセラーですが、最初に読んだ感想は「何だかよくわからない？」本でした。その後、「壁」シリーズが発刊されるたびに読み、「自分の壁」を読んで初めて「壁」の意味がわかった気がしました。学生の皆さんは、学習や進路について日々考え、自分で「出来る」のかどうか悩んでいるのではないかと思います。本書は悩みを解決する具体的方法に関する内容ではありませんが、何かの「壁」を感じている人は一読する価値があると思います。「壁」シリーズは「文系の壁」「京都の壁」「他人の壁」と続いています。興味ある人は、これらも併せてご一読ください。



「自分の壁」/
養老孟司、新潮社
※中央図書館所蔵あり

「長崎大学CHODAI古本募金」 始まりました！

～読み終えた本で現在・未来の長大学生を応援してください～



ちょうだい
「長崎大学CHODAI古本募金」を10月に開始しました。

古本募金とは、簡単に言うと不要になった本を古書店に買い取ってもらい、その金額が長崎大学に寄付されるというものです。

CHODAI 古本募金というネーミングには、「頂戴」の意味を込めています。不要になった図書が、長崎大学附属図書館の本や施設の充実のために生まれ変わります。

ぜひ、CHODAI 古本募金にご協力ください。

長崎大学古本募金 HP <http://www.furuhon-bokin.jp/nagasaki-u/>

募金の方法（1と2のどちらかお選びください）

1 図書館内（中央図書館、医学分館、経済学部分館）の回収BOXに入れる。
※匿名での募金を希望される方向き

2 提携業者に電話またはWebで回収を申し込む。
※5冊以上の場合送料無料で。宅配業者が集荷に伺います。



買い取れる書籍の例

ISBN（978等で始まる国際標準図書番号）のついているもの、CD・DVDがあります。発売後間もない書籍の方が金額が大きくなる傾向にあります。

古書店で値段がつかなかった図書もブックギフトプロジェクトという形で、国内外の施設や図書館等に寄贈されます。

買い取れない書籍の例

ISBNのないもの、個人出版の書籍、百科事典、違法なもの など



回収BOX
設置場所

<中央図書館>
1Fギャラリー付近

<医学分館>
入館ゲート付近

<経済学部分館>
カウンター前

詳しくは

図書館HP
バナーから
アクセス

長崎大学
CHODAI
古本募金

QRコード
を読み取り
アクセス



長崎大学 古本募金 検索



Library Lovers' Nagasaki

秋と言えば、「Library Lovers' Nagasaki」。ということで、今年も読書週間を含む、10月17日（火）～11月13日（月）に、Library Lovers' キャンペーンを開催しました。

昨年から、長崎県大学図書館協議会の合同キャンペーンとして行っているこのイベントは、『長崎の大学図書館を盛り上げよう』と、長崎県内の12の国公私立大学・高専図書館が参加しました。

2017年度合同企画：参加型ゲーム 『英語でチャレンジ！ラリーはどこ！？』

<STORY>

ある日、日本語が話せない留学生がカウンターにやってきました。おまがり～ずの中で唯一英語が得意なラリーが見当たりません。代わりにあなたが留学生の案内をしてあげましょう。そうすれば、ラリーの居場所がわかるかもしれません。 *Point!!*



おまがり～ず

昨年誕生したキャラクターたちが、今年も引き続き登場♪ 図書館の平和を守る5匹の尾まがり猫「おまがり～ず」のラリーの居場所を皆さんに探してもらうというお話でした。



キャンペーンの目玉となる合同企画は、昨年大好評だった脱出ゲームをさらにパワーアップ！！ 問題文をすべて英語にすることで、英語力の向上もねらった参加型ゲームにしました。

check! ゲームの鍵を握った2人の留学生は、今回初登場の新キャラクター！



Theo (テオ)

アニメ好き。
冬まつり（コミケ）に行くのが夢。
ギリシャ系フランス人。
専攻は心理学。

空手の有段者。
将来、カナダに道場を開くのが夢。
暑がりのカナダ人。
専攻は経営学。



Catherin (キャサリン)

+++ QUESTION +++

問題は全部で5問。
全て解ければゲームクリア！！
中央図書館で反響が大きかったのは、第2問のこの問題でした。
みなさん解けましたか？

(訳) テオが紙を落とした。そこに行きたい場所が書いてある。暗号を解け。

Theo dropped a piece of paper.
The code written on the paper is the place he wants to go next.
Solve the code.

[CODE]
とちみのらなからとくら

+++ ANSWER +++

ヒントは、パソコンのキーボード「かな入力」を「ローマ字入力」に変換すると答えがわかります。

「とちみのらなからとくら」



「SANKOUTOSHO」



「参考図書」

つまり、テオが行きたい場所は、<参考図書コーナー>でした。

開催報告 ~2017.10.17-11.13~



ゲームをクリアした人は3館で合計111名！総参加者数は371名でした♪

クリア第1号となったのは、中央図書館のゲームに挑んでくれた、教育学部4年の松尾くんでした。おめでとうございます！なお、各館で別々の問題を用意したところ、3館すべて制覇する強者も！最終的には、**371名**の方にゲームに参加していただき、うち**111名**がめでたくゲームクリアとなりました。皆さんご参加ありがとうございました。

ゲームクリア者には、キャンペーンの公式キャラクターである「でじまくん」や「おまがり〜ず」が描かれたオリジナルクリアファイルがプレゼントされました。クリアファイルの水色は、キャンペーンカラーとなっていて、海に囲まれた長崎を表現しています。

ゲームクリア者

中央図書館	90名
医学分館	9名
経済学部分館	12名



クリア第1号（中央図書館）

Nice!



行方不明だったラリーの居場所は、なんと新キャラクターのお膝の上でした！

噂のラリー

(中央図書館カウンター職員作)



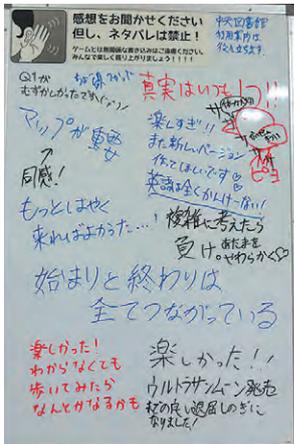
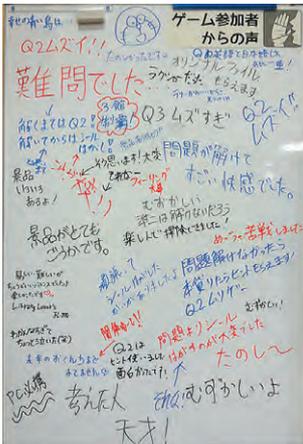
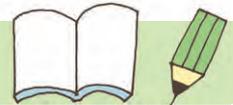
平戸出身のやんごとない(?) 身の上。
可愛い見た目だが年齢不詳。
でじまくんの直属の上司。
「ごきげんよう」が決まり文句。

ひめ課長

クリアファイルの中に、ゲームの答えが隠されていたことに、お気づきだったでしょうか？行方不明になっていたラリーは、**ひめ課長（新キャラクター）**の膝の上にいたんですね。



ゲームに参加してくれた皆さんに感想を書いてもらいました♪



ゲームに参加してくれた皆さんに感想を書いてくださいとお願いした所、中央館ではホワイトボード2枚びっしり埋まるほどのたくさんのコメントが寄せられました。それだけでもとても嬉しかったのですが、「楽しかった」という感想が多く、中には「新しいバージョンを作ってほしいです」、「もっと早く来ればよかった」といった担当者を泣かせるコメントも。参加してくださった皆さん、本当にありがとうございました♪ 来年も楽しい企画を考えますので、ぜひ参加してくださいね。来年の秋をお楽しみに！！！！



コメントありがとう！

ゲーム参加者からの声（中央図書館）

topics

見 発 再 地 古 大 型

経済学部分館に、江戸末期の長崎の町並みを描いた古地図があります。この古地図は、縦3m45cm、横4m50cmの大きさで、畳約10畳分の大型のものです。長らく存在が知られることなく、また所在も定かではありませんでした。

この度、書庫内を整理していたところ、この大型古地図が再確認されました。記録をみると、昭和3年に卒業生から、長崎高等商業学校（経済学部の前身）に寄贈されたとあります。約50センチ四方で幾重にも折りたたまれ、虫食い、破れが散見される状態でした。

この古地図には、町名はもとより、町の境界線でもある溝、井戸や階段の位置、町々の境に配置されていた番所、橋は石橋か木橋かを描き分け、そして最大の特徴として、各戸の土地の間口と奥行の長さや箇所数が書かれています。長崎歴史文化博物館に所蔵されている「長崎惣町絵図」と酷似し、写しではないかとも思われます。今回の再確認を期に、この大型古地図の歴史的価値を学術的に検証していく予定にしています。（経済学部分館）



『出島表門橋架橋記念プレ企画展 『出島橋と表門橋』』にて古写真を展示

【会期】 第1期：8月18日（金）～ 9月12日（火）
第2期：9月15日（金）～10月15日（日）

【会場】 出島 筆者蘭人部屋2階・十六番蔵2階 企画展示室

2017年11月の出島表門橋の完成に先立ち、出島の企画展示室で開催されたプレ企画展「出島橋と表門橋」（主催：長崎市）に共催として参加し、出島に関する古写真を展示しました。

いずれもボードインコレクションのうち火災によって損傷を受けた写真で、出島復元整備室（長崎市）が進めている出島の発掘調査によって撮影場所が新たに特定されたものも多数ありました。そこで、今回の展示では、「どの場所から、どの方角を向いて撮影されたのか」に焦点を当てて展示し、当時出島で過ごしていたボードイン等が見たであろう風景を疑似体験できるような工夫がなされました。



今号の表紙

今号の表紙は「Library Lovers' Nagasaki」のキャンペーン中に撮影した、参加者の皆さんの素敵な笑顔写真を集めました。

今年の合同企画は「英語でチャレンジ！ラリーはどこ！？」でした。

皆さん、ラリーを見つけることが出来ましたか？



和華蘭の窓 長崎大学附属図書館報 第132号 2018年1月1日発行

編集・発行 長崎大学附属図書館 〒852-8521 長崎市文教町1-14

TEL: 095-819-2200 Mail: libnews@ml.nagasaki-u.ac.jp URL: http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/